社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和08年10月22日

計画の名称	朝日町下水道整備（公共下水路）の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	朝日町												
計画の目標	近年の集中豪雨（ゲリラ豪雨）の多発、都市化の進展に伴う被害リスクの増大及び今後予測される大規模地震などによる甚大な被害に対し、総合的な浸水対策並びに下水道総合地震対策計画に基づく対策を実施することにより災害に強い町を作り、安全安心な住民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,010	A	1,000	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.99	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	下水道による都市浸水対策の達成率を４１%(R2)から４２%(R6)に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策実施済み面積（ha）　／　公共下水道事業計画面積（ha）	41%	42%	42%
2	地震時における優先度Ｉに分類された汚水施設の排水機能維持率を０%（R2）から１００%（R6）に増加させる。			
	下水道総合地震対策計画（汚水：優先度Ｉ）における排水機能維持率（%） （優先度Ｉ）人孔浮上防止対策及び可とう性継手設置実施済み箇所数（基）　／　（優先度Ｉ）人孔浮上防止対策及び可とう性継手設置必要箇所数（基）	0%	29%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000780972

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（雨水）	新設	小向雨水幹線築造工事（A07-001）	朝日東部排水区　L=294.50m	朝日町	■	■	■	■	■	892		－
	A07-002	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（汚水）	改築	朝日町下水道総合地震対策事業（設計）（A07-003）	耐震化詳細設計	朝日町		■	■	■	■	44		策定済
	A07-003	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（汚水）	改築	朝日町下水道総合地震対策事業（耐震化工事）(A07-004)	耐震化工事	朝日町			■	■	■	34		策定済
	A07-004	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（雨水）	改築	内水浸水リスクマネジメント推進事業（A07-005）	雨水管理総合計画策定	朝日町				■	■	30		未策定
											小計						1,000		
											合計						1,000		

案件番号：　0000780972

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	朝日町	直接	朝日町	管渠（汚水）	改築	朝日町下水道業務継続計画(BCP)策定(1-C-1)	業務継続計画策定　１式	朝日町			■	■		10		策定済
		基幹事業である浸水対策事業に併せて行うことにより、災害対策効果を向上させることができる。																	
											小計						10		
											合計						10		

案件番号：　0000780972

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
朝日町上下水道課において事後評価を実施。	令和8年10月
	公表の方法
	朝日町ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・雨水管渠の整備により、整備地区の雨水排水機能が向上し、浸水被害の軽減が図られた。 ・人孔浮上防止対策及び人孔と管渠の接続部への可とう性継手の設置により、対策実施箇所における地震時の排水機能の確保が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・内水浸水リスクマネジメント事業を活用し、雨水管理総合計画の策定に伴う浸水想定区域図及び内水ハザードマップを作成したことにより、町民の防災への備え及び意識の向上に寄与した。 ・下水道業務継続計画（BCP）の策定により、災害時における業務継続及び早期復旧に向けた対応手順を明確化された。

○特記事項（今後の方針等）

令和２年度から令和６年度までの５年間で、社会資本総合整備計画（防災・安全）（重点計画）に基づく下水道事業を実施し、都市浸水対策達成率の目標を達成した。今後も小向雨水幹線築造工事をはじめとする浸水対策を進めるとともに、目標に達しなかった耐震対策については、朝日町上下水道耐震化計画に基づく対策の前倒し実施に努め、安心・安全なまちづくりに取り組む。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	指標①下水道による都市浸水対策達成率(%)		
	最　終 目標値	42%	目標達成
	最　終 実績値	42%	
2	指標②下水道総合地震対策計画（汚水：優先度Ⅰ）における排水機能維持率（%）		
	最　終 目標値	100%	工事着手前の地下水位の確認調査に時間を要し、工期内に施工可能な範囲が限定されたため、対象51基のうち22基の対策を実施できず、目標値に達しなかった。
	最　終 実績値	57%	

案件番号：0000780972